

単元名：つたえよう！生き物のひみつ！

単元で付けたい力：○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する力 ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	【知識・技能（２）ア】 【思考力・判断力・表現力 A 話すこと・聞くこと（１）ア】 ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える力 【思考力・判断力・表現力 A 話すこと・聞くこと（１）イ】 ○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする力 【学びに向かう力・人間性等】
--	---

時	めあて・課題	学習内容・流れ	まとめ・ゴールの姿	児童から引き出したい振り返り	教員の振り返り（授業後）
1	学習の見通しを立てよう。	【話題の設定】 - 生活科「生き物を見つけよう」で見つけた生き物について振り返る。 - 調べた生き物について1年生に分かりやすく伝えるための学習計画を立てる。 - 教科書を音読し、本単元で身に付けたい言葉の力を確認する。（組み立てを考えて話す） - 振り返りを書く。	相手に分かりやすく伝えるためには、組み立てを考えて話すことが大事。	1学期に「こんなことをしているよ」の学習でお手伝いのことを書いて知らせるとき、「はじめ」「中」「おわり」の組み立てを使って作文を書いたことを思い出しました。スピーチの原稿もこんな風にかいたらいのかな。 「お手伝いのこと」を書くとき「中」には一番伝えたいことを書いたので、今度も「中」には、「ダンゴムシ」について書いて伝えたいな。 1年生も外でダンゴムシを見つけていることが多いので、1年生が聞いて驚くようなことを調べて伝えたいと思いました。	
2	生活科のカードを使って、1年生に伝えたいことを考えよう。	【情報の収集】 - 生活科のカードを見返し、自分が伝えたいことを付箋に書き出す。 - 伝えたいことについて、本や生活科のカード、友達からの情報を使って更に情報収集をする。 【内容の検討】 - 書き出した事柄をキーワードを使って分類し、まとまりをつくる。 - ワークシート（ロイロ）を使って伝えたいことを選ぶ。 - 振り返りを書く。	- 伝えたいことがたくさんあるときは、自分が一番心が動いたこと（伝えたいこと）や、1年生が聞きたいと思うことを選ぶことが大事。 「まとまり」がばらばらだと話の内容が分かりにくいのでキーワードを決めてまとまりをつくっておくとよい。	- 調べたことを全部伝えることはできないので、飼ってみて初めて知った、脱皮のことを特に伝えたいと思いました。 - 食べ物について伝えようと思っていただけ、〇〇さんが調べているのを見て、もっと詳しく書けました。 「植木鉢の下にいた」「大きい石の下で見つけた」は見つけた場所だから「見つけたところ」をキーワードにしてまとまりをつくりました。	
3 4	「はじめ」「中」「おわり」の組み立てを考え、1年生に話す準備をしよう。	【構成の検討】【考えの形成】 - 教師のモデル文を使ってゴールイメージを共有し、めあてを確認する。 - 教師の構成メモを使って文章構成（順序）を確認する。 3・4時間目の学習の流れを確認する。 1. 前時に書いた付箋を構成メモに並べ、話す順序を決める。 2. 付箋の順序について友だちと話す。 3. 組み立てを考え直す。 4. メモを見ながら原稿を書く。 - 学習を進める上でのお助けアイテムを確認する。 コーナーを作り、必要なものを選択できるようにしておく。 ○ワークシート（選択式） ○友だちと話すときの話型 ○教師のモデル文 ○まとまりごとに書ける原稿用紙 - 書き出した付箋を整理し、話す順序	組み立てを考えるときは、話す順序が大事。「はじめ」「中」「おわり」の「中」は、自分の絶対伝えたいことや相手の知りたいことを考えて順序を決める。	- 私は、ダンゴムシについて「食べ物」「すみか」「体のこと」「育てていて気が付いたこと」についてメモに書いていたけど、一番驚いたことは、「何回も脱皮をする」ということだから、このことを一番に伝えたいと思い、話す順序を決めました。明日は原稿を書きます。 - ぼくは、話す順序をどうやって決めたらいいかわからなかったの、ぼくと同じダンゴムシについて話すAさんにどうやって順序を決めたのか聞きました。Aさんは「一年生の知りたい順」と言っていたのでぼくもそうしました。 - 原稿に書くときには、「一つ目は」「二つ目は」を使って書くと、伝わりやすいと思いました。困ったときは、先生のモデルを見てがんばりました。	

		（組み立て）を考える。 ・ワークシートを使って、伝えたい順序になっているか友達と確認し合う。 ・原稿を書く。（書いた原稿は写真に撮ってクラウドにあげる。） ・振り返りを書く。		・「脱皮をすること」「食べ物」「すみか」の順で話そうと思っていたけど原稿を書いていたら、飼うより見付けた方が先だったから「すみか」を先に話した方がいいかなと思い、順序を変えました。	
5	伝えたいことがもっと伝わるように工夫しよう。	【表現】【共有】 【構成の検討】【考えの形成】 ・前時を振り返り、めあてを確認する。 ・教科書の動画を見て、どんな話し方が良いか確認する。 ・話をしている様子を録画しながら練習をする。 ・録画を見直しながら振り返りを書く。 ・振り返りを書く。	・伝えたいことが相手に伝わるようにまとまりを意識して話すことが大事。順序を表す言葉を使うとよい。	・録画を見直したら、ずっと下を向いました。1年生にちゃんと伝えるために相手を見て話したいです。 ・まとまりを意識して話すために、「一つ目は」「二つ目は」という言葉を使って話すようにしました。 ・Bさんは「一つ目」「二つ目」ではなくて「はじめに～について話します」と言っていたので聞きやすかったです。	
6	1年生に「生きもののひみつ」を伝えよう。	【表現】 ・前時を振り返り、めあてを確認する。 ・1年生に向けて話す ・振り返りを書く。	・相手に分かりやすく伝えるためには、順序に気を付けて、声の大きさや速さなど、聞く相手を意識した話し方が大事。	・1年生が聞きたいと思っていることを考えて伝えることを選んだので、楽しそうに聞いてくれたと思います。 ・順序を意識して話すことができました。「一つ目は」「二つ目は」と話すときは教科書の動画みたいに指を使って1年生に伝えました。	
7	これまでの学習を振り返り、どんな力が付いたのか確かめよう。	【共有】 ・どんな力が付いたのか、録画した音声や動画で振り返る。 ・振り返りを書く。	・伝えたいことの順序を決めて、組み立てを考えて話すと相手に分かりやすく伝えることができる。	・1年生に話している動画を見たら1年生がうなずきながら聞いてくれていました。「一つ目は」「二つ目は」という言葉を使って順序に気を付けて話したので1年生は聞きやすかったと思います。組み立てを考えて相手に分かりやすく話す力が付きました。	

言語活動：「生活科単元『生き物なかよし大作戦』で探したり育てたりした生き物について、1年生に向けて組み立てを考えて話す」

<単元末の子どもの姿>

- ・経験、体験したいくつかの話題から伝えたい事柄を選んで、伝わりやすいように順序立てて話している姿

<振り返りの例>

- ・わたしは、生活科で生き物をたくさん見つけたけれど、1年生も好きそうなダンゴムシを選びました。わたしが初めて知って驚いたダンゴムシの「体のこと」を最初に伝えたいと思ったので、「はじめ・中・おわり」の中のところで、「体のこと」を1つ目に、1年生が知りたいと思った「えさのこと」を2番目に話しました。1年生も「知らなかった体のことがよくわかった」と言ってくれてうれしかったです。
- ・「足のこと」「脱皮のこと」「おすとめすの見分け方」の3つを伝えようと思って順序を迷ったけれど、友達にアドバイスをもらって、一番びっくりした「脱皮のこと」は最後に話すことにしました。話のまとまりに気を付けて、どんな順序で話したいかをよく考えて組み立てを決めておくと、自分の伝えたいことを伝えることができました。